

第1回放送番組審議会 議事録

期日 平成28年11月24日(木)

時間 午後1時30分～午後3時00分

場所 櫛引庁舎 第1会議室

<出席者>

委員：難波正喜、菅原和則、渡部巖、清和ふみ子、菅原勝、齋藤智子、佐藤芳弥（7名）

※欠席：後藤誠、木村英俊、難波恵恵美（3名）

事務局：櫛引庁舎 榊原支所長、佐藤総務企画課長、遠藤総務地域振興専門員、
大宮総務地域振興専門員

朝日庁舎 工藤総務企画課長、佐藤総務地域振興主査、難波専門員

指定管理者 株式会社渡会電気土木 ケーブルテレビ課丸山課長、
金内総務管理係長、加藤放送業務係長、松田放送業務技術係長

委嘱状交付

1. 開会 櫛引庁舎総務企画課長

櫛引庁舎総務企画課長

本日の審議会は委員総数10名のうち7名の出席があり、鶴岡市ケーブルテレビジョン設置及び管理条例第11条第3項で定めている、総数の半数以上の出席要件を満たしていることにより審議会が成立する旨を報告。

2. あいさつ

櫛引庁舎支所長

近くの山もだいぶ白くなってきましたが、今日関東・都心の方で初雪ということで、記録的な早い時期の降雪で11月としては50何年ぶりとニュースで流れておりましたが、皆様におかれましては公私ともにお忙しい中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

本日、今年度第1回目の放送番組審議会ではありますが、放送番組審議委員は任期が2年で平成28年度からは新しい任期となりまして、この度改めて10人の委員を委嘱申し上げるものです。

この内6人の方が再任、また4人の委員が新任されました。

ケーブルテレビは平成8年4月に放送を開始し、多くの皆様に親しまれながら21年目を迎えました。平成20年4月からは、朝日地域全域にも放送区域が広がり、平成28年10月31日現在での加入数は合せて2,941件、加入率では、82パーセントで、大変多くの皆さんからご加入いただき、ご視聴いただいていることに大変感謝申し上げます。

平成22年4月からは、さらに質の高いサービスの提供と効率的な運営を目的として指定管理者制度を導入し、株式会社渡会電気土木さんが指定管理者となって適切な管理運営をしていただいております。さらには、平成27年4月からは利用料金制へ移行し、ケーブルテレビジョン加入者からお支払いただいた利用料は指定管理者の収入として、その財源で運営しております。

本日の審議会では、今年度の自主放送番組の実績報告と、番組の一部を視聴していただき、また、広告放送の検討経過についても説明させていただくことになっておりますので、委員の皆様から率直なご意見を賜り、今後の番組制作に反映させてまいりたいと考えております。

本市といたしましては今後も放送の安定供給につきまして、ケーブルテレビジョンを通して地域の身近な情報の共有を図ることで、活力ある地域づくりを進めてまいりますので、委員の皆様からもご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

3. 会長、副会長選出

委員の互選により、会長に難波正喜氏、副会長に佐藤芳弥氏を選出した。

会長 挨拶

ただいま会長にご推挙いただいた櫛引芸術文化協会の難波でございます。このような重責を賜ることに対して非常に光栄であるとともに、職責の重さを感じております。この重責を全うするためにも、委員の皆様からはご指導、ご鞭撻、ご意見をいただきながら努めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、本日は二十四節気の小雪を迎え、冬を間近にしておりますが、支所長の挨拶でもありましたが、関東甲信越地方では11月としては54年ぶりの降雪で、箱根においては大雪ということで交通にも支障を来しているとニュースで流れていました。こちらの方は周囲の山々は白くなってきましたが、雪はなく幸いております。委員の皆様におかれましては、冬を前にして非常にお忙しい中、審議会においでいただき誠にありがとうございます。

鶴岡市ケーブルテレビジョンは、地域の問題を提供するコミュニティチャンネルとして、KCTウィークリーやJAタイムなど数多くの自主放送番組を製作し、地域に密着した番組として放送され、視聴者の心を和ませ、知識の向上など内容は多方面に渡り、他地域にはない恵まれた環境であることはみなさんご承知のことと思っております。

よって、この地域に与えられたケーブルテレビジョン放送網をフルに活用できるように

委員の皆様からは忌憚のない積極的なご提言を頂き、番組の充実向上になるようよろしくお願いいたします。

また、番組制作あたっては日ごろよりスタッフを始め関係者の活躍には衷心より感謝を申し上げ、簡単ではありますが就任の挨拶とさせていただきます。

4. 協議

(1) 自主放送番組の放送実績及び加入状況について

－指定管理者丸山課長が資料に基づき説明－

委員

加入率82%ということであるが、100%に近くにならない理由、入っていない方の事情、状態はわかるものでしょうか。

また、今年は市民チャンネルの放送がまだ無いということですが、利用者が参加するという意味ではその果たす役割は大きいと思います。今までも本数は少なかったわけですが、働きかけはしているのでしょうか。市民チャンネルが放送されると番組にも変化があっていいと思います。

指定管理者

入っていただけない方の状況については、なかなか把握できていない状況です。昨年度、利用料金制に変わる際に脱退された方が増えました。始まって20年近くになって見直しをするきっかけとなったのかなと感じています。去年10月から3月にかけては伸び率が少し上がっています。

櫛引の下山添地区の住宅団地では新築の世帯がありますが、加入しなくてもアンテナを上げればテレビは視聴できるということがあって、そういう方々への働きかけがなかなかできていない部分であります。

市民チャンネルについては毎年数が少なかったが、今年は1本も放送していないという状況です。今まで、同じ方々が投稿してくださっていたということがあって、その方々が忙しいなどの理由により、今年は撮影することができなかったということでした。声掛けをさせてはいただいています、もう少しPRに力を入れていきたいと思っています。

委員

今回、櫛引が14件も増えているが。

指定管理者

新築で引っ越されてきた方とか、空き家に入っただけの方などがいて新規に増えたものです。

委員

公共施設の場合、朝日・櫛引の数はよくわからないが櫛引は少ないのか、公共施設の加入率はどうなっていますか。

指定管理者

ダム・発電所関係など朝日の方が多いのかなと思います。大体は入っていただいているのではないかと思います。

(2) 自主放送番組について（視聴）

KCTウィークリーから「砂川ビアガーデン／十王堂で三千刈地区例祭（豆力士奉納相撲）【H28.8.20 放送】」、「あさひ小3年イワナ放流／宝谷地区でそばのお花見カフェ【H28.9.17 放送】」を視聴

委員

今年から委員として参加させていただいたが、疑問に思ったのが櫛引・朝日地域両方の番組が流れていますが、例えば砂川地区がどの地域なのか場所がわからないので、ちょっとした簡単な地図があって紹介していただけるとわかりやすいし、自分でも見てみたいという気持ちが湧いてくるのではないかと思います。

指定管理者

地図の表示はなかなか難しいと思います。すべてにおいて表示するとなると、製作サイドとしては大変と思います。

会長

インターネットでは、地図は出てくるが著作権の問題で流せないということになるのだろう。独自でおおまかな地図を作ることができないだろうか。

指定管理者

即答はできませんので検討させてください。

委員

それぞれの活動が子供たちと大人のふれあいなど地域の温かさが伝わってきていいなあと思いました。今はインターネットで配信すると旅行者が来訪する、観光地だけに行くような時代ではないので地域おこしにもつながるのではないかと思います。

指定管理者

今でも週に1本はインターネットで配信しています。

櫛引庁舎総務企画課長

ホームページで見られるような環境は構築しています。すべての番組は流すことにはなりません、見ていただくことによって地域の人も脚を運んでもらえるようになればと思います。

委員

配信している番組に対しての反応とかはわかるものでしょうか。

指定管理者

具体的にはわかりません。見た数は把握できると思います。どちらかという地元よりはふるさとがこちらにあるという方が多く見てくれているのかなと思います。

委員

各地域の行事の様子ということはわかりますが、裏側にある運営している組織に目を向ける内容があってもいいかなと思います。行事をするというより、それを進めていく組織を作ったり、維持していく方が重要だろうと考えています。それらの活躍している姿を取り上げるのもいいかなと思います。

指定管理者

ウィークリーという番組の中で、そこまで取り上げるのは難しいと考えています。アナウンスコメントの中ではこういう方々で主催しているとは紹介しています。事前にこういう活動をしていて、そこからこのイベントができたことをウィークリーの中で流すのは難しいと思います。

ただ、具体的にいろいろな事業をしている団体であれば、特別番組の中で主催者側にスポットを当てて取り上げることはできると思います。

委員

夜間の取材は暗くて好感度カメラで撮影できないか。イワナ放流の話題はコメントがよくまとまっていてわかりやすかったが、アナウンスについて、内容によってしっとりした感じや明るい感じなど、もう少し流暢にできないかと感じました。

指定管理者

現実的には好感度カメラの機材はありませんし、ライトはよほど暗くないと使用していない状況です。見ていただいた題材は、まわりに屋台の明かりもあったので使用しません

でした。

会長

イワナ放流の話題は子供の声が入り、臨場感が出ていた。いろいろな場面でもっとテロップを入れた方がさらに良くなるのではないか。そばカフェについては、参加者へのインタビューがあった方がいいと感じました。

委員

いろいろな取材に来てくれて、よくまとめてくださっていると思います。一つひとつを見れば注文をつけるところもあるが、スタッフの努力に感謝しているところです。

委員

機器の問題、費用の問題、放送時間の制約もありカットすることもある中で工夫してやっていると思います。情報がいっぱいあり、取材が重なる時もあると思うが、選択はしていますか。

指定管理者

同じ地区や同じような団体・顔ぶれが、すぐにまた放送されることのないよう、また、朝日と櫛引のバランスも取りながら選択しています。

(3) その他 ①広告放送の検討経過について

委員

広告料金については一般の法人を相手にとという設定だろうと思いますが、公共的なお知らせにも適用されるのでしょうか。

櫛引庁舎総務企画課長

指定管理者から、かねてから懸案となっていた広告放送について、検討の途中である素案を説明していただきましたが、この素案を作り込みながら徐々に課題となっている事項を詰めていき、まとまった段階で市に対し伺いを取ってもらい、許可をするという段取りになります。

今ほど話のあった広告料を減免するといった点などについても、これからの調整課題となると思います。今でも公共的なお知らせは静止面の文字情報として流しているわけですが、これがウィークリーに続けての動画放送となる場合は、料金をどうするかなど、今後、指定管理者の方でつめていただいて相談していただくことになります。

今回示した料金については、他の参考例を調査しながら設定したと聞いていますが、この額についても今後検討していく中で変動があるのかなと思っています。

委員

官民にある程度の差があってもいいと思いますし、今は静止画を無料で流していますが、民間の放送局では公的なものを放送した場合、どのような広告料になっているかはわかりませんが、このケーブルテレビについては市で行っている事業でありますので考慮があってもいいのではと思います。

櫛引庁舎総務企画課長

第2回の審議会では、ほぼまとまった形での案としてお示し、ご意見を頂戴した後に、伺い・決裁というように進めてまいりたいと思います。

(3) その他 ②音声告知放送ガイドラインの運用内規について

委員

関連であります、市・J A・学校からの情報が音声告知で度々放送されているが、担当者の研修会・連絡会のようなものはあるでしょうか。放送内容は決裁等を取っているだろうと思うが、全住民が聞くとすると言葉のアクセントが聞きづらい。小中学生も聞いているのでちゃんとしたアクセントにしてもらいたい。担当者の集まる調整会議を開いて研修できないでしょうか。もっと聞きやすい告知放送にしてもらいたいと思います。(渡部委員は朝日庁舎管内の放送を聞いている)

指定管理者

K C Tでアナウンス業務を受託しているので、櫛引では総務企画課で決裁後にアナウンサーが放送しており、基本、各担当者が話すことはありません。

朝日管内の放送については朝日庁舎の管理となっており、いろいろな担当者が放送している状況になっています。

委員

櫛引ではという話があったが、櫛引分署からは直接消防署員が放送していて、つなぎ目のない話し方など聞きづらいときがあります。

櫛引庁舎総務企画課長

毎月、K C Tと市で番組制作などの打合せをしているので、その中で検討させていただきたいと思います。

委員

音声告知放送ガイドラインの運用内規を作っていたのだが、J A支所名が入ったもの

となっています。全体で事業をする場合もあるので支所名を取っていただきたい。

櫛引庁舎総務企画課長

委員の発言のとおり、訂正し精査させていただきます。

5. その他

委員

4K・8K放送の試聴も始まっていますが、ケーブルテレビでは4Kの再送信はできるのでしょうか。それに伴った機器の取得等は済んでいるのか。

指定管理者

現状では、4K放送自体がまだ技術的に確立されていないので、どこのケーブルテレビでもまだ取り組んでいない状況です。また放送の仕方自体も国の方で完全に決まっていないので、これから検討する形になると思います。

委員

当然4K放送になることを見越して量販店ではテレビを販売していると思うので、櫛引・朝日は4Kが受信できないでは利用料を徴収しての放送として責任を果たしているとは言えないのではと思います。ぜひ対応の方よろしくお願ひしたいと思います。

櫛引庁舎総務企画課長

東京オリンピックに向けて、この話は急速に進むものと予測しておりますが、指定管理者から話があったとおり、今のところケーブルテレビで採用している所はないということで今後、研究をしていきたいと思ひます。

なお、設備投資・改修にどれ位かかるかということも合せて研究させていただいて、委員のみなさまにお示しできるようであれば示していきたいと考えています。

委員

加入率の話もあったが、毎日のように地震の報道がなされ、今は携帯電話などもありますが、いち早く住民にお知らせするというところで、エリア的に例えば羽黒地域などに防災上のこともあってケーブルテレビを広げるといった検討とか話題はあるのかないのかお聞きしたいと思ひます。

櫛引庁舎総務企画課長

防災関連で言いますと、櫛引・朝日は光ケーブルを使用してみなさんに情報を届ける、他の地域では無線で届けるという仕組みが確立されています。ただし櫛引・朝日のように

個々の家庭に届くかというところがなっていないことが一つあります。逆に櫛引・朝日では送出する側が被害を受けるとその情報が流れないデメリットもあります。

防災システムの現状を踏まえて、ケーブルテレビが他の地域に広範囲に広がっていくかということは現状ではその議論はされていません。市議会で話題となったこともあります。膨大な整備費を必要とすることもありまして、エリアを拡大することにはなっておりません。

会長

放送開始してから21年。われわれ審議会委員だけではなく、視聴者自身がケーブルテレビに対してどのように考えているのか、意見や要望があろうかと思っておりますので、アンケート的な調査が必要ではないのでしょうか。

指定管理者

以前からそういう話も出てたことから、来年度中に時期ははっきりしていませんが、アンケートを実施しようと考えています。審議会にも結果などをお知らせしていきます。

委員

参考までお聞きしますが、新春特別番組はどのように企画しているのでしょうか。

指定管理者

1日は市長・JA組合長のあいさつ、2日は園児の歌を予定しています。他に近年は、わんこそば大会などを開催してきましたが、今年度は次の世代に残しておきたいものとして、昔語りをされている方々が櫛引と朝日におりますので、出演いただいて新春にふさわしい昔語りを放送していきたいと考えております。

6. 閉会 櫛引庁舎総務企画課長

以上